

【泉区】令和4年第3回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和4年8月31日 13時55分～15時10分
場 所	泉区総合庁舎4階 4ABC会議室
出席者	<p>【座 長】 梶村 充 議員</p> <p>【議 員：3人】 麓 理恵 議員、横山 勇太郎 議員、源波 正保 議員</p> <p>【泉 区：26人】 深川 敦子 区長</p> <p>市川 一弘 副区長</p> <p>秋元 秀臣 福祉保健センター長</p> <p>竹田 良雄 福祉保健センター担当部長</p> <p>安達 秀昭 土木事務所長</p> <p>和田 誠名 泉消防署長</p> <p>ほか 関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度泉区個性ある区づくり推進費事業実績 2 令和4年度泉区個性ある区づくり推進費執行状況 3 令和5年度泉区予算編成の考え方（案） 4 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 泉区総合庁舎「4階執務室化工事」及び「2階窓口再編成」の実施について (2) 立場地区センター駐車場の整備進捗状況について

発 言 の 要 旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度泉区個性ある区づくり推進費事業実績 特になし 2 令和4年度泉区個性ある区づくり推進費執行状況 麓議員：資料2の2ページ、定住・転入促進事業について。相鉄・東急直通線の開業も控えているが、これまで定住・転入促進事業に取り組んできて、効果として実感していることはあるか。 河村区政推進課長：まず、泉区の魅力をPRする媒体を区役所として作り、それをもとに着実に発信することができたことが大きな成果だと考えている。それから本事業の事業展開においては、多くの方々と一緒に泉区の魅力を内外に発信するというコンセプトがあった。このことについても、相鉄グループや区内不動産事業者、各施設など、様々な皆
-----------	---

様のご協力のもと、一緒に情報発信ができてきた。また、昨年度からは区民の方々に区民ライターとして参画いただき、自らが思う泉区の良いところを発信する取組も始めた。多くのステークホルダーとともにこの事業が展開できていることを実感している。以上のような点について評価ができると考えている。

また、どこまで直接的な因果関係があるかは分からないが、泉区の人口動態については、令和元年以降、社会増減がプラスに転じている。令和元年は1人増だったが、2年、3年は300、400人規模での転入超過となっている。これは、街づくりや社会情勢などさまざまなことの結果だとは思いますが、定住・転入促進事業の取組もその流れの一助になっているのではないかと考えている。

麓議員：数字としても表れていることは、区役所職員にとっても事業実施の効果が分かるということだと思う。

「泉区魅力発信カレンダー」はどういうところに貼られているのか。

河村区政推進課長：区役所の窓口や区内地区センター、ケアプラザ等、各施設に配布している。

麓議員：販売は考えていないのか。

河村区政推進課長：新聞に取り上げられた際など、販売はしていないのかという声もいただいたため、現在泉区のホームページにデータをアップしている。販売は考えていない。

麓議員：ダウンロードしたら画像が小さくなってしまったので、せつかくの写真がもったいないと思う。

定住・転入促進事業のように泉区の魅力をどんどん発信していく一方、特に人口が減っている連合、地域にとって地域交通は大きな課題。泉区内は地下鉄も相鉄線も通っているが、バス便の減少や、急な坂道などの地形的な課題もある。地域交通サポート事業について現在取り組んでいる地域や、区役所として課題と考えている地域はあるのか伺いたい。

河村区政推進課長：区内で地域交通サポート事業が展開されている地域については、ご存じの通り、Eバスがある。その他、現在新橋地区において、事業化に向けて区民の皆様と一緒に取り組んでいる。新橋地区は、区民の方からの発案で、5年以上にわたる議論の中、地域交通サポート事業に向き合っている。このほど需要予測アンケートを行ったところ、一定の乗車需要が見込めるということで、実証実験に移る段階に

きている。具体的には、10人乗り程度のワゴン車で実証実験していく見込み。現在、車両の手配をしている。11月頃、実証実験が始まる予定。ここまで漕ぎつけたので、ぜひ多くの方々にご利用いただき、事業化するよう、地域の方々と一緒に取り組んでいきたい。ルートは弥生台駅から緑園都市駅の間で3連合をまたがって1周することを想定している。当該地域は谷や坂があり、区役所としても、公共交通のニーズがあると認識している。区役所の想いと地域の想いが合致した地域であるので、事業化に向け、取り組んでいきたい。

麓議員：地域によってはなかなか話がまとまらない、あるいはそれだけの力がないところもあろうかと思うので、地域によっては区役所も力を発揮してもらいたい。新橋地区の状況について詳しい資料があったらいただきたい。

防災について。この度ハザードマップとマイタイムラインが配られた。マイタイムラインについては、区民に対して配るだけではなく、活用の仕方をもっと説明する必要があるのではないかと。防災訓練等が行われなくなっている中、活用方法を周知していく手立てが必要なのではと思っているが、区役所としてはどのように考えているか。

原田総務課長：8月末までに浸水ハザードマップ及びマイタイムラインを区内全世帯にお配りしている。ご意見いただいた点について、区役所としても受け止め、局とも共有する。区役所では出前講座をはじめとした各種講座の実施や、防災拠点訓練も行っている。それらの取組の中でも啓発ができる。実際にマイタイムラインの活用を勧めていくのは区役所の役割でもあるので、課題を把握しながら、具体的な活用方法の周知に努力したい。

麓議員：ハザードマップによりどのあたりの被害が大きくなるかということが分かっている。そのような地域を中心に、多くの方がマイタイムラインを活用できる状況を作っておくことが、区役所として大事だと思う。地域で防災を担当されているの方々と一緒に進めてほしい。

区内の道路について。東原から緑園に抜ける新しい道路の途中、山を削っているように見えるところがある。山肌がカバーされていたところが、現在はカバーが外されている。以前、道路を通すために山を削るという話を聞いていたような気がするが、その工事が進んでいるのか。山肌が見えているので、大雨の時期の対策も合わせて教えてほしい。

安達土木事務所長：現在実施している工事は、権太坂和泉線という道路。

道路を通すにあたり、山をなくす必要がある。現在は山を削り、仮の調整池を造っている。ここにいったん降った雨を溜め、少しずつ流していくようにしている。これまで雨が降ると下の方のトンネルに土砂とともに一気に流れ込んでしまっていたので、そのための対策である。

3 令和5年度泉区予算編成の考え方（案）

源波議員：基本姿勢について、3つの輪が重なって表現されているが、令和3年度事業実績と令和4年度執行状況をみていると、まさにこれらが重なっている部分があると感じる。「魅力向上・創出」と、「多様な主体との協働」は、地域の中でいろいろな人材を発掘するという意味でも、若年層が参画していくという意味でも、非常に重要。こうした視点に立って「住むなら泉区」に向け、全区挙げて取り組んでいただきたい。

4 その他

(1) 泉区総合庁舎「4階執務室化工事」及び「2階窓口再編成」の実施について

源波議員：マイナンバーカードの普及について、泉区でも進んでいると思うが、マイナンバーカードを持っていると、区役所の閉庁日でもコンビニで住民票がとれる。便利になっているが、課税証明もコンビニでとれるといいという声が多く聞かれる。市民局の広聴関係部署にも聞いてみたら、そのような声は寄せられているということだ。財政局に聞いたところ、スマホでとれるとのことであった。区民から直接窓口意見がきていることはあるか。

丸山税務課長：スマホ申請については、戸籍に追いつけ追いこせでやってきた。ただ、課税証明については、住民税のみの課税証明に限定される。戸籍は、住民票などは世帯でまとまりがあるが、住民税については1人のマイナンバーに対して1枚の課税証明という形になる。税関係の照明はその他固定資産税の証明もある。これらについては、対象の物件や土地、家屋の所在地などを個人で正確に把握していらっしゃる方がなかなかおらず、多くは行政書士の方等が取りにこられる。今後、固定資産税の課税証明についても、さらに取得しやすくということで、財政局主税部のほうで検討を進めている。コンビニでの発行については、現在対応していないが、そこも引き続きの検討していくものだと思うが、現在、財政局からは具体的なことは聞いていない。

梶村議員：課税証明はどここの区役所でも取得できるのか。

丸山税務課長：取得できる。行政サービスコーナーでも取得が可能。

源波議員：関連して、弁護士、司法書士などは職権で証明がとれたが、いろんな事件が起きていてなかなかとれないと思うが、昔と比べて取得基準はかなり厳しくなっているのか。

加藤戸籍課長：弁護士、司法書士、行政書士などは、協会が発行している職務上請求書という一般の申請書とは違った様式を利用している。本人確認資料と合わせ、提出いただくことで円滑に発行している。

源波議員：弁護士や司法書士の方で発行してもらえなかったという話を聞いた。

加藤戸籍課長：書類上、何か不備等があったのではないかと推測する。

源波議員：マイナンバーカードの発行状況はどうか。

加藤戸籍課長：7月末現在の発行状況は横浜市全体で50.5%。住民の半数以上の方がすでに取得している。泉区は7月末現在で48.7%であり、市平均よりは少なくなっている。

(2) 立場地区センター駐車場の整備進捗状況について

麓議員：医療局用地はどのように使われていくか。

塗師地域振興課長：具体的な活用については、今後検討されていく。

麓議員：今も草が生え、ほったらかしになっていてもったいない。早く方向性を示してほしい。医療局が考えるのか泉区から提案するのか分からないが、有効な活用方法を考えてほしい。

河村区政推進課長：医療局用地については、庁内利用照会をかけたところ、横浜市の各部署での利用希望は泉区の案件以外なかった。市としての活用は可能性としては低い。今後、用途廃止施設の活用・処分の運用ガイドラインに沿って資産活用推進会議などを経て活用について検討していくことになる。立地が良いため、おそらく長く塩漬け状態にはならないと思う。区としても働きかけをしていきたい。

梶村議員：いまは人工地盤になっているのか。

塗師地域振興課長：これまで遊水池の上に鉄板を敷いてあったが、その鉄板を外し、遊水池が表出する形になると聞いている。

梶村議員：どのような遊水池なのか。

塗師地域振興課長：鉄骨で囲われたコンクリート製の池になっている。

梶村議員：遊水池ということは水が出るのか、あるいは出たことがあるのか。

塗師地域振興課長：過去の状況は分からない。確認する。

梶村議員：どこの川の遊水池なのか。

安達土木事務所長：遊水池ではなく、建物を建てる際に必要となる民間の調整地だと思う。

塗師地域振興課長：立場地区センターを立てる際、開発するときに作られたと聞いている。

梶村議員：大きさはどれくらいか。

塗師地域振興課長：車 10 台が横に並ぶくらいで、そこまで広い場所ではない。

梶村議員：体育館に冷暖房がつかない理由を局に聞いておいてほしい。

塗師地域振興課長：局に確認する。

5 その他

源波議員：みなとみらい地区が脱炭素先行地域に選定されたが、郊外部でも選定のチャンスがあると思う。想定しやすいのはこれから開発が進むゆめが丘だと思うが、緑園都市なども可能性があるのではないか。旧緑園西小学校跡地についても、脱温暖化の視点をもって活用を検討するなど、ぜひ前向きに考えてほしい。「住むなら泉区」のアピールポイントになる可能性もある。

河村区政推進課長：まちづくりを進めていく中では、いかに付加価値をつけるか、最新技術等を導入していくか、という点が重要になってくる。泉区ではこれからゆめが丘をはじめ、色々な地区で開発が始まっていく。関係局と連携しながら、より付加価値が高く、脱炭素等を売りにできる都市機能や施設について、区のほうからも積極的に提案していきたい。

麓議員：8月26日から横浜市でレシ活VALUE、レシ活チャレンジが始まった。店舗によっては、アプリ導入等の手伝いをしてくださることだが、泉区はその店舗が少ない。区内各商店街でそれぞれ何件か協力していただく必要があるのではないか。なかなか区役所がお願いに入っていくのは難しいと思うが、これからまだ協力店が増えていくと思うので、ぜひ力を入れて、地元の店を使われる高齢者の方々の支援をお願いしたいと思う。

塗師地域振興課長：区の商店街連合会の定例会等でもお願いさせていただき、協力店舗を増やしていきたい。それとともに、今回は郵送でも申

	<p>請受付をしているので、そちらのご案内も丁寧にしていきたい。今、かなり多く申請いただいております、本人確認にお時間をいただいている状況と聞いている。</p> <p>梶村議員：神奈川県でGoToEATが使える店舗は区内にあるか。</p> <p>深川区長：泉区内にもあるが、少ない状況。かながわPay、GoToEAT、レシ活等、さまざまな消費還元の取組と合わせ、商店街を支援する取組も重要だと考えている。商店街の皆様と一緒に盛り上げていけるよう、取り組んでいきたい。</p>
備 考	